
ゾンビが現れた世界！！

おおざん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゾンビが現れた世界！！

【Nコード】

N1540V

【作者名】

おおざん

【あらすじ】

アホ 変体 キモイ！が揃った高校^{さがみ}生沙神^{しん}遼^{りょう}君が突如出現したゾンビ達から生き延びるため戦います。
気が向いたら読んでみてください！

第0話 日常

××県笹宮市にある笹宮高校にある一人の高校生がいた。

「あつちい・・・死ぬ・・・だめだ・・・溶けて死ぬ・・・童貞のまま死にたくねえよ・・・」

まさに夏と言えるような暑さの中、アホ見たいな発言をする俺、沙^{がみょう}神遼

はとにかく死にそうだった！！

「アホか！！、そんなんで死ぬアホがどこにいるのよ！！」

「いってえ・・・殴んなよ・・・余計暑くなっただろ・・・あつちい・・・」

とまあなんか攻撃的な喋り方（実際に攻撃するんだが）をするのは、幼なじみの柊鈴^{はなづね}だ。

髪型はボーイッシュなショートカット、顔は美少女の部類に入ると思っのだが、この攻撃的な性格が残念だ・・・こいつすぐ殴ったり、すぐ蹴ったりするからな・・・まあそれでも一部のM男君にはモテモテらしい・・・

「鈴、スカートの下にはちゃんとパンツくらい穿いとけよ。仮にも女だろ。」

ん？なんかこれでは鈴がノーパン見た（ry

「そげぶっ！」

顔面蹴られた。

「それじゃあたしがノーパンみたいじゃないの！！とゆうかスカートの中覗くなアホ！！」

「おおお落ち着けっ！！ 俺が言いたかったのはショートパンツじゃなくて普通の女物のパンツを穿けっって言う意味で言ったんだ！！決して「うへへwwこいつノーパンだぜww」見たいな感じで言ったry」そげぶっ！！」・・・最後まで話を・・・聞・・・け・・・」

バタツ・・・。 沙神遼は目の前の真っ暗になった・・・

沙神遼VS柘鈴 勝者 柘鈴 カンカンカーーン！！

「ふーはっはっはっはあー！遼なんて余裕よ！！この調子でチャンピオン目指すよ！！」

「お・・・い・・・話が脱線して・・・るぞ」

お、そろそろ動けるかな？どっこいしょ！ お、立てた 見て！鈴！遼君一人で立てたよ！・・・まったく見てねえ・・・ひどいよ・・・

「あ、そうだ忘れとった鈴、飯食いにいくぞ」

「ん、変態と飯は食いたくないけど・・・しょうがないわね！あ、昼飯、遼の奢りね」

「はい、そこー マークつけなーい って俺の奢りかよ・・・今月同人誌一気買いで金ねえんだけど・・・」

まあいいか・腹減ったー

まだ、この時は平和だった

第一話 ゾンビ出現!! (前書き)

いえーい!おおざんでーす!!

一話に入れました!

気が向いたらでいいのでよかったら感想書いてください!

第一話 ソンビ出現!!

笹宮高校の学食にて、

「おーい、鈴」

「なんだ？変態」

「その呼び方やめろ、アホ お前ラーメンでいいんだよな？」

「遼の方がアホでしょ!!!」

なんか今さらつと事実を言われたような気がするが……気のせいかな。

俺は鈴の席になんかしらんけど奢らせられたラーメンを置く。

こいつがラーメンなんて注文するせいで俺は学食の中で一番安いあんぱん（50円）を食うハメになったじゃねえか……いつかぎやふんと言わせてやる（怒）

まあ無理だろうけどな（笑）

「遼、あんたなんであんぱん食ってんの？」

「金がねえんだよ、誰かさんがラーメン（500円）なんて注文するせいでな！」

「あんた、財布の中550円しか入ってなかったの!? どんだけ貧乏なのよ!!!」

「はいはい、貧乏でわるーございました。こちら一人暮らしなんですー。」「

俺の家族は父親は俺が5歳の頃に死んだ、母親は2年前に癌で死んだ、とゆうことで俺は今一人暮らし中だ。生活費は父さんと母さ

んの保険金があるから大丈夫なんだが、小遣いが無い・・・バイトはしてるんだが、エロゲやら同人誌やらゲームやらAVやらでバイト代が一週間でチャラになる(笑)

「遠、早く食べちゃいなさいよ！！遅いわよ」

「鈴、食うのはえーよw」

『がしゃん』

そんな事を話していると俺と鈴の席の3つくらい後ろの席で食器が割れる音がした。

なんだ？誰かが食器落としたのか？俺がそう思った時、男子生徒の悲鳴が学食内に響き渡った。

「ギャアアアアア！！痛えっ！！いてえよ・・・来るな・・・来るなあああ・・・ウギイオゲツ」

「なに？なんなのよ!?!」

鈴がそう聞いてくる、俺は悲鳴のした方を向いて見た。

俺は唖然とした、人が人を食っている。

あの赤いのは血か・・・それにあの赤黒い物体は内臓か？

は？なんなんだよこれ!?!

ありえないだろ！

ありえないありえないありえないありえない・・・人が人を食う!?!そんなのありえるわけないだろ!?!まるでゾンビ見たいじゃないか!?!昔俺が願った事がいまさらなんで叶うんだよ!?!おかしいだろ!?!そんなの!?!あの出来事で俺はわかったじゃないか!?!ゾンビなんているわけがないって・・・

おかしいだろこんなの!?

「遼!!!どうすんのよ!?!」

「屋上だ!! 今頃階段は人で溢れかえってるはずだ!それなら屋上で人がすくなるのを待つんだ!」

今、昔の事を考えても仕方ない、今やるべき事は鈴と一緒に生き残る事だ。

第一話 ゾンビ出現!! (後書き)

やっとゾンビが出ましたねww

遼君の過去になにがあったのか!?

その話はいずれかださせていただきます!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1540v/>

ゾンビが現れた世界！！

2011年10月9日06時09分発行